

留学WEEK
e-START/STARTプログラム説明会

2024年5月14日（火） 17 時～

主催：広島大学国際室国際部国際交流グループ

e-STARTプログラム 参加者募集説明会

1. e-STARTプログラムとは?
2. プログラムの流れ
3. プログラム参加のメリット
4. 募集概要
5. 今後のスケジュール
6. 応募方法・オンライン申請時の注意事項
7. コース紹介
8. Q&A



1. e-STARTプログラムとは？

テーマにもとづいて、オンラインで海外の学生と一緒に
課題に取り組む、新しい形の国際協働プログラムです



- 外国語によるコミュニケーションを行う
- 異なる文化を持つ人とのコミュニケーションを行う
- 異なる環境や経験の中での考え方の多様性、相同性について考える
- オンラインツールを使用して興味のあるテーマを自由に選択し、学習する

2. プログラムの流れ

事前講義

- ・本学教員／協働大学教員による，相手国・地域，コーステーマについての基礎知識
- ・自主勉強会など



海外学生とのグループワークやディスカッションに臨む前に，基礎知識や語学などしっかり準備しておこう！

グループワーク

- ・自己紹介，チームメートとの顔合わせ
- ・協働大学学生とのグループワーク・ディスカッション
- ・最終発表準備



グループ発表

- ・最終発表，討議，教員によるフィードバック



3.プログラム参加のメリット

e-STARTプログラムに是非、ご参加ください！

① 語学力の向上が期待できます

- プログラム全体を通して英語（コースによっては他言語の場合もあります）で受講するので、実践的な語学力の向上を期待することができます。

② 興味に応じて学部の枠を超えて学べます

- 広島大学の特徴の一つは、一つの大学に多くの学部、専門領域を持つことです。自分の専門分野外の、興味のある他分野の講義を受講する機会はなかなかありません。是非この機会に受講してみてください。

③ 広島大学の様々な学生と交流ができます

- 海外留学が難しくても、オンラインで海外大学の授業を経験し、学生と交流することができます
- 広島大学の他キャンパスや他学部の学生と交流する機会となります
- 広島大学の様々な学部の留学生と交流する機会となります

④ 主に夏季休業・学年末休業を利用した集中講義です

- 海外留学には興味があるけれども、時間やお金に余裕がないという学生さんにはお勧めです



e-STARTプログラム参加のメリット（参加学生の声）

- プレゼンテーション能力が上がった
- リスニングやスピーキング能力は以前よりも良くなったと感じる
- オンラインなので、ホームシックになったりしないのが良かった
- 日本を出る必要がなかったため、留学をしたことがない私にとっては敷居が低くなり参加しやすかった。
- 大学でオンライン授業も受けていたが、あまりディスカッションの機会がなく、学生同士の交流がだんだん少なくなっていた。今回違う国の人と交流できる機会があり、オンラインでなかなか難しいかなと思ったが、思ったより気軽に交流できた
- 3カ国の大学の先生や学生の話を知ることができ、日本の当たり前が世界の当たり前ではないことを実感することができた
- 日本での授業だと基本的に、日本の学生同士討論になってしまうため視野が狭まってしまいが、e-STARTでは日本人学生のみ考えに絞られることがなかったので、広い視野から問題に取り組むことができた

4. 募集概要

対 象	全学部・研究科 ※休学中を除く。留学中（オンライン留学含む）の人は要相談 ※コースにより、学部生のみ対象の場合もあり
定 員	各コースによる
コース数	前期：5コース，後期：未定
単 位	1単位（教養教育科目「オンライン国際協働演習（e-START)A」） または 2単位（教養教育科目「オンライン国際協働演習（e-START)B」）
研修期間	コースによる。主に夏・春期休業期間。前期は7月初旬～，後期は12月初旬～

5. 今後のスケジュール

● 前期

日程 (予定)	内容
4月上旬	募集要項の公開・オンライン申請開始 (もみじ掲示)
6月上旬～7月下旬	応募締切・参加者選考
各コース締切後1週間程度	参加者決定通知
6月中旬～9月末	コース別学習開始 ※コース別学習の詳細スケジュールは、担当教員より通知

● 後期

日程 (予定)	内容
10月上旬	募集要項の公開・オンライン申請開始 (もみじ掲示)
12月上旬～1月下旬	応募締切・参加者選考
各コース締切後1週間程度	参加者決定通知
12月上旬～3月末	コース別学習開始 ※コース別学習の詳細スケジュールは、担当教員より通知

6. 応募方法・オンライン申請時の注意事項

■ Microsoft Formsから申請

- 応募URLはもみじ掲示で案内予定

■ 応募には英語能力試験のスコア・証明書が必要

- 広島大学で実施されたTOEIC IP (※) や、各自で受験したTOEIC本試験、他の英語試験 (TOEFL、IELTS、英検など) の成績を提出
 Semesterごとに、実施予定の全コースの募集・選考を同時に行う
- STARTプログラム応募希望者は、STARTプログラムの各コース指定のe-STARTプログラムに応募ください

■ 申請情報入力後、

「自分の回答についての確認メールを受け取る」に必ずチェックをして、受信した申請内容を確認してください。

以上で応募手続きは終了です。入力内容に問題がない場合は送信ボタンを押してください。

入力内容を訂正する必要がある場合は、応募期間内に再度入力してください。
この場合、以前の入力内容はすべて破棄の上、最新の入力内容にて応募を受け付けたことといたします。

応募期間外の訂正は認めませんのでご注意ください。

自分の回答についての確認メールを受け取る

戻る

送信

ページ 3/3

受領した申請内容が間違っている場合は、再申請を行ってください。最新の入力情報を正として扱います。

- プログラム参加費は無料です。ただし担当教員が別途指示するテキスト等の購入に費用等が発生する場合、またプログラム参加のために必要となるデータ通信料は学生の個人負担となります。
- 履修登録は、グローバル化推進グループが行うので、各自で行う必要はありません。
- 参加者には原則として全ての授業への出席が義務付けられています。万が一欠席する場合、担当教員に連絡し、指示に従ってください。

7. コース紹介 (前期 : 5コース)

※詳細は学生募集時のコース一覧参照のこと

2024年度e-STARTプログラム前期開講コース一覧 / e-START Course List for 1st semester in AY2024

2024年4月30日現在

No	開講学期 /Semester	コース名 /Theme of the course	教員名 (職名) /代表者 : O (Professors)	開講実施の国・地域名 Country or Region	共同開講の大学名 Overseas university (s) to jointly conduct the course	持っておくと望ましい知識 Recommended background knowledge	実施時期 /Period	曜日・時間 /Day and Time	[1]講義/Lecture		[2]グループワーク /Group Work		[3]グループ発表 /Group presentation		最終終了日 Application due date	対象 Eligibility	定員人数 Capacity	単位数 /Credit (s)	備考
									開始 Start	終了 End	開始 Start	終了 End	開始 Start	終了 End					
1	前期 1st	健康な社会を育む Cultivating a Caring and Inclusive Society for All	○水島 万寿子 (特任准教授) フェリス学院大学 ○Marko OMDI (Associate Professor) Shriance-CHAMBERS (Professor) Narumune KAWAI (Professor)	A: アメリカ, C: 中国, K: 韓国, T: タイ, ID: インドネシア A: USA, C: China, K: Korea, T: Thailand, ID: Indonesia	A: セント・クラウド州立大学, C: 東華大学, 北京師範大学, K: 韓国中央大学, T: 清華大学, ID: インドネシア国立大学 A: St. Cloud State University, C: Changchun University, Beijing Normal University, K: Hankyong University of Foreign Studies, T: Tsinghua University, ID: Universitas Pendidikan Indonesia	他/なし/ None	6/21~7/24	Wednesday and Friday 9:00 - 12:15	6/21	7/10	7/12	7/12	7/19	7/24	6/12 (水) Jun 12 (Wed)	●学部生のみ Undergraduate student only ●教員員の持参 The visits are available for faculty and staff	最大(Min): 10名 最大(Max): 120名	1	START研修・韓国 研修生歓迎 奨励金あり
2	前期 1st	SDGsの相互関係 - 健康・福祉・教育、貧困や食糧安全保障との関係 Inter-relationship between the SDGs: Relation of good health & wellbeing and education with (no) poverty and food security	○Ninaj Prakash JOGHI (准教授) Ninaj Prakash JOGHI (Associate Professor)	A: エジプト, Z: ザンビア, M: マラウイ, I: インド, AU: オーストラリア A: Egypt, Z: Zambia, M: Malawi, I: India, AU: UK, AU: Australia	E: カイロ大学, アインシャムス大学, アスワフ大学, ヘニエフ大学, Z: ザンビア大学, M: マラウイ, E: ザンビア国立科学技術大学, K: シュワフェール州立大学, AU: ニューサウスウェールズ大学 E: Cairo University, Ain Shams University, Asswan University, Beni-Suef University, Egyp-Japan University of Science and Technology (E-JUST) Z: University of Zambia, M: University of Malawi I: The Birla Institute of Technology & Science, Pilani, B: The University of Sheffield, AU: The University of New South Wales	国際協働に関する一般的知見を推薦するが必須ではない。 General background knowledge on international cooperation is recommended, but not mandatory.	7/1~7/19	Weekday (Monday to Friday) 17:00-18:30	7/1	7/5	7/8	7/12	7/15	7/19	6/15(土) Jun 15 (Sat)	●学部生・大学院生どちらでも可 Both undergraduate and graduate student	最大(Min): 6名 最大(Max): 50名	1	Agri研学生奨励金あり
3	前期 1st	平和とSDGs Peace and SDGs	○石田 淳子 (准学長) Yoko SHIBADA (Vice President (Diversity))	E: エジプト, Z: ザンビア, M: Malawi	E: カイロ大学, アインシャムス大学, ヘニエフ大学, アスワフ大学, エジプト国立科学技術大学, Z: ザンビア大学, M: マラウイ大学 E: Cairo University, Ain Shams University, Asswan University, Beni-Suef University, Egyp-Japan University of Science and Technology (E-JUST), Z: University of Zambia, M: University of Malawi	2030アジェンダと持続可能な開発目標 (SDGs) に関する基礎知識 (2030アジェンダとSDGsの相関性、どの目標が関連しているか、どの目標がターゲット目標か) Basic knowledge of the 2030 Agenda and the Sustainable Development Goals (SDGs), i.e. what they are, how and by whom they are promoted, what are the goals and targets etc.	8/5~9/3	Basically weekday in four countries Monday to Friday 17:00-18:30 (JST)	8/5	8/21	8/22	8/26	8/29	9/3	7/15 (月) Jul 15 (Mon)	●学部生・大学院生どちらでも可 Both undergraduate and graduate student	最大(Min): 5名 最大(Max): 50名	1	START研修生・ザンビア研修生歓迎奨励金あり
4	前期 1st	災害レジリエンスと地域における健康: 知識から経験へ Disaster resilience and community health: Learning from multiple countries' experience and understanding the health impacts by disasters	○Shima Nishimura (准教授) Miyumi KIKO (Associate Professor) ChaTERAMOTO (Lecturer)	AU: オーストラリア, ID: インドネシア, T: トルコ, I: インド, B: イギリス AU: Australia, ID: Indonesia, T: Trabzon University, Ondokuz Mayıs University, University of Health Sciences, Karadeniz Technical University I: Birla Institute of Technology and Science, Pilani, Indian Institute of Management, Bangalore UK: The University of Sheffield	AU: フлиндラーズ大学, ニューカスル大学, ニューサウスウェールズ大学, ID: アムボイナ国立大学, T: トラブゾン大学, オドクズマヤス大学, カラチンズ大学, I: ビルガワラ国立大学, B: インド管理大学, UK: アランガ大学 A: Flinders University, Newcastle University, The University of New South Wales I: Al-Farouq University, UK: Arangan University, T: Trabzon University, Ondokuz Mayıs University, University of Health Sciences, Karadeniz Technical University I: Birla Institute of Technology and Science, Pilani, Indian Institute of Management, Bangalore UK: The University of Sheffield	参加を希望している学生は、以下の知識や興味を持つことが望ましい。 1. 一般的健康や健康促進の知識 2. 人道的活動、地域でのケア、看護、コミュニティエンゲージメント (国際的な場合、地域でのボランティア) The students who attend this course are desirable to have interests in: 1. general health and health promotion 2. humanitarian activities, care in community, nursing, community engagement, volunteering in community	8/9~8/26	コース開始前(オンライン)とオンプレートの4月2日 (1時間) 前、ライブ配信 + オンプレートの前日 Prior to the course commencement, the course presentation will be on 7 August for one hour (7:00-8:00 AM, 2024) and 26 August (2024) is, ライブ配信 + オンライン + オンプレートの3つの形式で、2時間 - 1日のグループワーク (8:00-14:00, 21日) あり、Live workshop days 12, 18, and 26 August, 2hours per session (online) and group work day (14 and 21 August, 2hours per session). JSP: 14-18, UK: 8:00, AU: 14-18, India: 12-18 このスケジュールは変更される場合があります Detail schedule will be informal listed.	8/7	8/26	8/7	8/26	8/16	8/26	7/26 (日) Jul 26 (Fri)	●学部生・大学院生どちらでも可 ●教員員の持参 Both undergraduate and graduate student The visits are available for faculty and staff	最大(Min): 5名 最大(Max): 50名	1	Agri研学生奨励金あり
5	前期 1st	熱帯資源を利用した健康増進から生物活性物質の探索へ Exploring and utilization of bioactive substances from tropical resources for health and aging	○Koji ARAKAWA (准教授) Koji ARAKAWA (Professor)	ID: インドネシア, M: マラウイ ID: インドネシア, M: マラウイ	ID: マカッサル州立大学/Universitat Negeri Makassar (Makassar State University) M: マラウイ国立大学 University of San Carlos	・生物資源・天然物化学に関する基礎 Basical in Biorecources and Natural Product Chemistry ・化学・生物学・農学に関する基礎知識 Basic knowledge about chemistry, biology, agriculture, and pharmacy	8/10~9/30	Tuesday and Friday in the end of August, 2024 (group) end of September	8/10	9/30	8/25	9/20	9/21	9/30	7/31 (水) Jul 31 (Wed)	●学部生・大学院生どちらでも可 Both undergraduate and graduate student	最大(Min): 5名 最大(Max): 15名	1	

コースの内容詳細は、もみじに掲載している各コースの「コース詳細 (pdf)」を確認してください。For more details, please refer to "Course Details(pdf)" for each course on Momiji.

7. コース紹介（前期：5コース）

※詳細は学生募集時のコース一覧参照のこと

<p>⑥ 対象学生等/Eligibility</p> <p>※原則、最終セメスター学生は単位付与のタイミング上、「単位不要」での登録となる。</p> <p>※大学院生は学部の科目の単位付与可能</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>学部生のみ/undergraduate student only</p> <p><input type="checkbox"/>大学院生のみ/graduate student only</p> <p><input type="checkbox"/>学部生・大学院生どちらも/Both undergraduate and graduate student</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>教職員の見学可/ the visits are available for faculty and staff</p>
<p>⑦ 曜日・時間/Day and Time</p> <p>現時点で分かる情報をご提供ください</p>	<p>Wednesday and Friday 9:00am – 12:15pm</p>
<p>⑧ 募集人数/Capacity</p>	<p>最小開講人数：10名/Minimum number of participants</p> <p>最大募集人数：120名/Maximum number of participants</p>
<p>⑨ 募集終了日 / Application due date</p>	<p>2024年 6月 12日</p>

<p>⑩ コース内容詳細案（必要に応じ補足資料を添付してください）</p>		
<p>Detailed plan of the course (please attach supplementary documents if necessary)</p>		
<p>(1) 講義 Plan of specialized lecture</p>		
<p>時期/Period : June 21 – July 10</p>		
<p>内容/Details :</p>		
<p>Class 1 & 2</p>	<p>Introduction of inclusion and diversity. Exchange with the students who joined this program (Hiroshima University students only)</p> <p>※ online/ in person participation available</p>	<p>June 21 (Fri.)</p>
<p>Class 3 & 4</p>	<p>Students' initial exchange by Dr. Mariko Omori (Associate Professor at Hiroshima University)</p> <p>Lecture by Dr. Kathryn Johnson (Professor at St. Cloud State University)</p>	<p>June 26 (Wed.)</p>
<p>Class 5 & 6</p>	<p>Lecture by Dr. Udumluk Kooksriroj (Professor at Kasetsart University)</p>	<p>June 28 (Fri.)</p>
<p>Class 7 & 8</p>	<p>Lecture by Dr. Ganlin Huang (Associate Professor at Beijing Normal University)</p>	<p>July 3 (Wed.)</p>
<p>Class 9 & 10</p>	<p>Lecture by Dr. Mariko Omori (Associate Professor at Hiroshima University): Cultivating a Caring and Inclusive Society for All.</p>	<p>July 5 (Fri.)</p>

募集要項、その他詳しい情報は

もみじTopから … 学びのサポート → 留学 → e-START/STARTプログラム

もみじ 広島大学 学生情報の森
MOMIJI

広大ID:

広大パスワード:

[教職員の方は「いるは」からログイン](#)

Myもみじへログイン

HOME

学びのサポート

学生生活のサポート

進路・就職のサポート

留学生へ

学びの
サポート



START(スタート)プログラム

プログラム名	START(*)プログラム *Study Tour Abroad for Realization and Transformation
--------	--

- ・募集要項
- ・オンライン申請URL
- ・説明会資料 などを掲載

Q & A



よくある質問

Q. 過去e-STARTプログラム, STARTプログラムに参加したことがありますか
今回参加することはできますか。

A. 可能です。過去の参加経験に関わらず参加できます。

Q. e-STARTは何回まで参加できますか。

A. 各セメスター 1回, 最大6回まで参加できます。すなわち, 教養教育科目 (オンライン国際協働演習 (e-START) AまたはB) は上限6単位または12単位取得できます。

Q. セメスターの途中から留学予定です。参加することはできますか。

A. セメスター中に留学が開始あるいは終了する場合, 時期的にe-STARTと留学先の授業が重ならない場合に限り履修可能ですが, コース指導教員に必ず伝えてください。ただし, セメスター期間のすべてが学籍上「留学」の人は参加できません。



よくある質問

Q. 履修上限単位数が最大数である場合、応募可能でしょうか。

A. 集中講義扱いのため、履修上限単位数の対象外となる場合がありますが、取り扱いは学部によって異なります。所属学部の学生支援室に履修可能かお問い合わせください。

その他、お問い合わせは・・・



【応募について】

広島大学国際室国際部留学交流グループ

E-mail : kokusai-ryugaku@office.hiroshima-u.ac.jp

Tel : 082-424-5838

※対応時間は、平日（土日祝除く）の8:30～17:15です。

【コースの内容について】

各コースの担当教員（メールアドレスは募集要項のコース詳細を参照）